

平成26年度 第2回農業大学校外部評価委員会

日時：平成27年2月24日（火）10：00～

場所：大分県立農業大学校 会議室

1 開 会

2 あいさつ

学校長あいさつ

委員長あいさつ

3 議 事（議長：委員長）

（1）平成26年度重点目標の取組状況及び評価について

運営方針1 活気あふれる学園づくり（基礎学力を備えた入学生の確保：60名）

運営方針2 質の高い教育の提供（全国大会出場最低1名1課題以上）

運営方針3 新規就農者の確保（全学年・研修生の進路決定、就農率80%以上の確保）

（2）平成27年度 魅力ある農大の実現に向けた取組概要

（3）その他

平成27年度の主な行事予定

4 閉 会

諸連絡

第2回 外部評価委員会出席者名簿

1 外部評価委員

区分	関係機関名	職名	氏名	備考
教育関係者	大分県高等学校教育研究会農業部会	大分県立日出暘谷・日出総合高等学校長	清末 隆文	
生産者	大分県指導農業士会	会長	藤野 涉	
〃	大分県農業法人協会	会長	増田 徳義	
〃	地元女性農業者	元竹田市農業委員	古庄 京子	
卒業生	大分県立農業大学校同窓会	副会長	湯浅 正徳	
農業団体	大分県農業協同組合	常務(営農担当)	坂本 茂則	
行政	豊後大野市	農業振興課長	伊東 克芳	
〃	大分市	中部振興局生産流通部長	森本 亨	

2 農業大学校

職名	氏名
校長	天野 洋史
副校長	吉野 長人
次長兼教務・学生課長	植木 節子
農学部長	浅田 誠治
研修部長	太郎良健一
教務・学生課准教授	古庄 久輝

1 平成26年度重点目標の取組状況及び評価について

重点目標	取組状況	達成状況	評価																																		
<p>運営方針1 活気あふれる学園づくり</p> <p>【数値目標】 基礎学力を備えた入学 生の確保：60名</p>	<p>1 平成26年度入学試験実施状況と合格者数</p> <p>(1) 推薦入試と一般入試</p> <table border="1" data-bbox="465 344 1283 485"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施日</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>推薦入試</td> <td>10/29</td> <td>46名(8名)</td> <td>46名(8名)</td> </tr> <tr> <td>一般入試</td> <td>12/2</td> <td>7名(0名)</td> <td>7名(0名)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>53名(8名)</td> <td>53名(8名)</td> </tr> </tbody> </table> <p>()内は女子</p> <p>※県内農業系高校からの受験者28名(52.8%)前年比-1 普通科等11名、(前年比-2)私立、通信9名(前年比-3) 県外高校3名、(前年比+1)社会人2名(前年比-7)</p> <p>(2) 過去5年間の受験者数と入学者数</p> <table border="1" data-bbox="465 639 1283 727"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受験者数</td> <td>53名</td> <td>51名</td> <td>58名</td> <td>50名</td> <td>69名</td> </tr> <tr> <td>入学者数</td> <td>49名</td> <td>46名</td> <td>53名</td> <td>41名</td> <td>56名</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 二次募集を実施 募集期間 平成27年2月20日(金)～3月13日(金) 試験日 平成27年3月19日(木)</p> <p>2 高校の進路指導への要請活動強化</p> <p>(1) 県内全高校への学生募集 第1回目(公立46校・私立14校・通信制4校 計64校) 県内高校3年生に農大紹介リーフレット配布、進路ガイダンス要請 第2回目(64校)、第3回目(24校) ※6月より進路コーディネーターを配置、高校46校へ訪問、同行</p> <p>(2) 進路ガイダンスへの参加 公立11校13回、私立1校、地区6(大分2回、日田、中津、別府、宇佐)計20回実施</p> <p>(3) 出前農大「先輩や教授が農大を語る会」 公立高校9校10回実施、農業系8校 普通科系1校</p> <p>(4) 高大連携の強化 農業系高校との連携(1年生体験研修9校)、大分東高校(2年農業系学科生徒・保護者との農大体験研修、PTA研修)</p> <p>(5) オープンキャンパスへの参加者の拡大 第1回目(6/21)36名(昨年34名) 第2回目(7/24)38名(昨年36名) 計74名(昨年70名) 保護者：第1回23名、第2回21名 計44名(昨年28名)</p>		実施日	受験者数	合格者数	推薦入試	10/29	46名(8名)	46名(8名)	一般入試	12/2	7名(0名)	7名(0名)	計		53名(8名)	53名(8名)	年度	H22	H23	H24	H25	H26	受験者数	53名	51名	58名	50名	69名	入学者数	49名	46名	53名	41名	56名	<ul style="list-style-type: none"> 推薦、一般入試での合格者は53名。数値目標である定員60名に、ほぼ達成。 基礎学力を備えたでの達成状況は、推薦入試における数学の平均点は54点台と前年度同様。最低点は16点アップした。(4点⇒20点) 一般入試では、国語、数学で平均70点台と前年度より20点以上アップした。 合格者53名中、県内高校生は48名で90%を占める。 農業系高校からは、28名の合格者があり、受験者全体の52.8%を確保できた。 女子生徒の合格者は、8名であり、昨年度より4名増加した。 一般入試受験者は7名と少なかった。公立高校は1名増加したのに対し、社会人受験者は7名減少した。 三重総合(本校)との高大連携も定着し、基礎学力の高い3名の合格者があった。 	<p>【自己評価】</p> <p>4 目標を完全に達成</p> <p>③ 目標をほぼ達成(80%以上)</p> <p>2 目標を未達成(50～80%)</p> <p>1 目標を著しく未達成(50%以下)</p> <p>【委員評価】</p> <p>4 目標を完全に達成</p> <p>③ 目標をほぼ達成(80%以上)</p> <p>2 目標を未達成(50～80%)</p> <p>1 目標を著しく未達成(50%以下)</p>
	実施日	受験者数	合格者数																																		
推薦入試	10/29	46名(8名)	46名(8名)																																		
一般入試	12/2	7名(0名)	7名(0名)																																		
計		53名(8名)	53名(8名)																																		
年度	H22	H23	H24	H25	H26																																
受験者数	53名	51名	58名	50名	69名																																
入学者数	49名	46名	53名	41名	56名																																

重点目標	取組状況	達成状況	評価
	<p>(6) 県外高校への情報提供 在学生 1年生2名、2年生8名の出身校にオープンキャンパス案内、学生募集要項等を送付(内、1名一般入試を受験)</p> <p>(7) 学校説明会への参加呼びかけ(高校側担当者を対象) 県内高校進路担当者への学校説明会参加を依頼(4月訪問から)21校(21名の教諭が参加、公立17校、私立、通信制4名)</p> <p>(8) 受験に係る個別相談、在校生の報告、JR駅学生募集ポスター掲示 高校生・保護者との面談(県内5組、県外1組、計6組)、在校生の活動ポスター掲示(私立1校)、JR駅12駅にポスター掲示</p> <p>3 広報活動の強化</p> <p>(1) ホームページの適時更新と充実 25件更新</p> <p>(2) マスコミ掲載回数が増 新聞掲載記事4月以降19回、テレビ放送1回</p> <p>(3) 県下CATVへの取材(豊後大野市2回)</p> <p>(4) 農大出張販売5回実施 大分市わくわく館4回、7/22、9/26、11/28、1/30 実施 犬飼町の港祭り 1回 7/5</p>		

重点目標	取組状況	達成状況	評価
<p>運営方針2 質の高い教育の提供</p> <p>【数値目標】 全国大会出場最低1名 1課題以上</p>	<p>1 プロジェクト研究の高度化</p> <p>(1) 農林水産研究指導センター・振興局との連携によるプロジェクト研究活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年生プロジェクト連携課題40課題、 水田：8課題 野菜：13課題 花き：6課題 果樹：8課題 畜産：5課題 臨時農業研究部との連携会（9月）、水田グループ（4回）、果樹グループ（16回）、花きグループ（2回）、畜産研究部（1回）の打合せ、会議を実施 2年生プロジェクト課題の指導の徹底（連携課題29課題） 水田：10課題 野菜：11課題 花き：1課題 果樹：5課題 畜産2課題 園芸技術者協議会において成果発表：果樹、垣根仕立て 九州地区農業大学校プロジェクト・意見発表会への出場 <p>(2) 平成26年度九州農業大学校等プロジェクト・意見発表会出場</p> <ul style="list-style-type: none"> プロジェクト：母牛初乳と初乳製剤給与による子牛への免疫付与の比較検討 総合畜産科2年男子 「ハウスミカンにおける垣根仕立てによる早期多収生産技術の確立」総合農産科果樹コース2年男子 意見発表：「自分の進む道」総合農産科作物コース1年男子 <p>(3) 平成26年度全国農業大学校等プロジェクト・意見発表会出場</p> <ul style="list-style-type: none"> プロジェクト：「ハウスミカンにおける垣根仕立てによる早期多収生産技術の確立」総合農産科果樹コース2年男子 意見発表：「自分の進む道」総合農産科作物コース1年男子 <p>(4) ヤンマー学生懸賞論文・作文に応募、内2課題入選</p> <p>作文の部：「芯念」総合農産科1年果樹コース女子 論文の部：「農大生の葛藤と革命プラン」総合経営特別講座「農村社会学」におけるグループ研究4名</p> <p>(5) 第8回 全農学生「酪農の夢」コンクール 優秀賞 総合畜産科2年男子 「反対されながらも夢を描いて」</p> <p>(6) 第52回技能5輪全国大会 フラワー装飾 県代表として1名出場 総合農産科 花きコース 1年女子</p> <p>(7) 高大連携プロジェクトの実施 三重総合高校との連携モデル事業（授業9回、課題研究5回、実習15回）</p> <p>(8) 大分大学との連携プロジェクトの実施 大分大学経済学部地域システム学科山浦准教授「総合経営特別講座 農村社会学」におけるグループ研究4名：ヤンマー学生懸賞論文</p> <p>2 4年制大学編入学の実現 島根大学1名、愛媛大学2名 合計3名が合格</p> <p>3 農業法人等の期待に応えられる学生の育成</p> <p>(1) 教養講座Ⅰ（農業数学）教養講座Ⅱ（基礎数学）の充実 教養Ⅰ：2年生16名、1年生14名 教養Ⅱ：1年生20名</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全国大会出場最低1名1課題以上の数値目標達成状況は、プロジェクト部門と意見発表部門に各1名、計2名出場できた。 ヤンマー学生懸賞論文・作文で2課題が入選した。 プロジェクト研究の高度化に向けた取組は、農研センターや振興局と連携した課題の取組が1年生で40課題と大幅に実施できた。 日本農業技術検定の合格者の向上（2級10名以上目標）については、2級以上取得者数は7名であった。 	<p>【自己評価】</p> <p>④ 目標を完全に達成</p> <p>3 目標をほぼ達成（80%以上）</p> <p>2 目標を未達成（50～80%）</p> <p>1 目標を著しく未達成（50%以下）</p> <p>【委員評価】</p> <p>④ 目標を完全に達成</p> <p>3 目標をほぼ達成（80%以上）</p> <p>2 目標を未達成（50～80%）</p> <p>1 目標を著しく未達成（50%以下）</p>

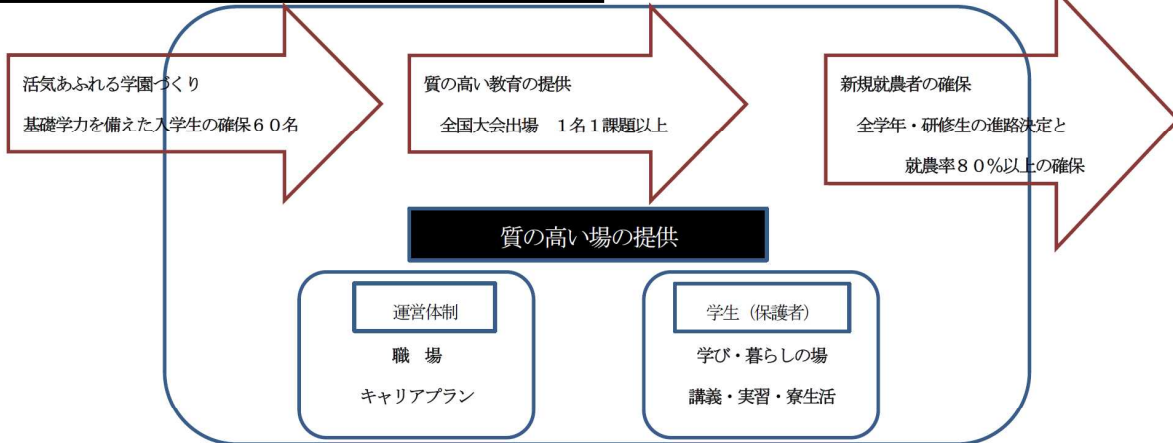
	<p>教養Ⅱは基礎数学の専門講師を配置</p> <p>(2) 総合経営特別講座の実施 ⇒2年生8名受講 特別科目：企業経営論、アグリビジネス論、消費者ニーズとマーケティング、農業簿記、農業経営分析、農村社会学、研修（先進農家、市場流通）</p> <p>(3) 農業機械応用実習の実施 小型管理機、動力噴霧機、トラクター（ロータリー耕）33名受講</p> <p>(4) JGAP認証取得に向けた農場管理の実践（3カ年計画・3年目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導員の養成（職員1名、学生11名受講済み） ・野菜コース農場管理マニュアルの作成 ・J-GAP認証取得（3月） <p>(5) 日本農業技術検定の合格者の向上（2級10名以上目標）</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>・第1回（7/19）</td> <td>受験者数</td> <td>3級15名</td> <td>2級38名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>合格者数</td> <td>3級7名</td> <td>2級4名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・第2回（12/13）</td> <td>受験者数</td> <td>3級7名</td> <td>2級10名</td> <td>1級4名</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>合格者数</td> <td>3級2名</td> <td>2級3名</td> <td>1級1名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・取得者数合計</td> <td></td> <td>3級9名</td> <td>2級7名</td> <td>1級1名</td> <td></td> </tr> </table>	・第1回（7/19）	受験者数	3級15名	2級38名				合格者数	3級7名	2級4名			・第2回（12/13）	受験者数	3級7名	2級10名	1級4名			合格者数	3級2名	2級3名	1級1名		・取得者数合計		3級9名	2級7名	1級1名			
・第1回（7/19）	受験者数	3級15名	2級38名																														
	合格者数	3級7名	2級4名																														
・第2回（12/13）	受験者数	3級7名	2級10名	1級4名																													
	合格者数	3級2名	2級3名	1級1名																													
・取得者数合計		3級9名	2級7名	1級1名																													

重点目標	取組状況	達成状況	評価																																																						
<p>運営方針3 新規就農者の確保</p> <p>【数値目標】 全学生・研修生の進路決定、就農率80%以上の確保</p>	<p>1 進路状況 (1) 進路内定状況(平成27年2月現在)</p> <table border="1" data-bbox="465 236 1337 384"> <thead> <tr> <th></th> <th>卒業 予定</th> <th>進路 内定</th> <th>内定 率</th> <th>農業 自営</th> <th>農業 法人</th> <th>関係 団体</th> <th>就農 者数</th> <th>就農 率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学生</td> <td>39</td> <td>39</td> <td>100</td> <td>4</td> <td>25</td> <td>2</td> <td>31</td> <td>79.5</td> </tr> <tr> <td>研修生</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>100</td> <td>12</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>20</td> <td>80.0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>64</td> <td>64</td> <td>100</td> <td>16</td> <td>30</td> <td>5</td> <td>51</td> <td>79.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 農学部過去5年間の就農率(%)</p> <table border="1" data-bbox="465 411 1337 502"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>就農人数</td> <td>17</td> <td>28</td> <td>33</td> <td>34</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>就農率</td> <td>50.0</td> <td>70.0</td> <td>70.0</td> <td>83.0</td> <td>80.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 農学部2年生への濃密支援及び進路先の開拓 (1) 進路コーディネーターの新設による農業法人との連携強化 30法人訪問、学生支援と進路相談の実施(171回)、卒業生への支援(30法人訪問) (2) 農業法人との就職相談会を開催 開催日:平成26年7月7日、参加法人27法人(過去最高) (3) 農業法人での体験研修の促進(夏季休暇中の見学・研修) 21法人へ訪問:延べ44名</p> <p>3 研修生の就農確保 (1) 振興局・関係団体との連携会の開催(年4回) ・第1回 4/10:25名の研修生との面談 ・第2回 6/12:25名の研修生との面談 ・第3回 9/29:自営就農希望者との面談 ・第4回 11/25:自営就農希望者との面談 ・法人等訪問:長期コースは「イチゴ、小ネギ、ピーマン、白ネギ、にら、トマト」の6品目、 中期コースは、「ピーマン、にら、トマト、白ネギ、イチゴ」の5品目について先進農家を視察、現状調査を実施 (2) 農業法人との就職相談会の開催 ・ 7/7:出席者10名(戸別面談6名) ・ 12/6:出席者6名(戸別面談6名)</p> <p>4 通信講座による就農への関心度向上 (1) 通信講座受講生の確保 ・各コース定員:20名、入門コース19名、中級コース17名 (2) 就農相談会参加者の確保 ・就農相談会参加者 3名(うち1名は就農予定)</p>		卒業 予定	進路 内定	内定 率	農業 自営	農業 法人	関係 団体	就農 者数	就農 率	学生	39	39	100	4	25	2	31	79.5	研修生	25	25	100	12	5	3	20	80.0	計	64	64	100	16	30	5	51	79.7	年度	H21	H22	H23	H24	H25	就農人数	17	28	33	34	35	就農率	50.0	70.0	70.0	83.0	80.0	<p>・全学生・研修生の進路決定と就農率80%以上の数値目標をほぼ達成。</p> <p>【農学部】 ・卒業予定者全員の進路決定ができた。</p> <p>・就農率は、79.5%となり、数値目標である80%以上には僅かに及ばなかった。</p> <p>【研修生】 ・研修生は対象者のうち全員の進路が決定する見通し。就農率は80.0%で目標は達成した。</p> <p>・通信講座受講生の確保については、入門コース95%、中級コース85%である。引き続き確保を継続していく。</p>	<p>【自己評価】</p> <p>4 目標を完全に達成</p> <p>③ 目標をほぼ達成(80%以上)</p> <p>2 目標を未達成(50~80%)</p> <p>1 目標を著しく未達成(50%以下)</p> <p>【委員評価】</p> <p>④ 目標を完全に達成</p> <p>3 目標をほぼ達成(80%以上)</p> <p>2 目標を未達成(50~80%)</p> <p>1 目標を著しく未達成(50%以下)</p>
	卒業 予定	進路 内定	内定 率	農業 自営	農業 法人	関係 団体	就農 者数	就農 率																																																	
学生	39	39	100	4	25	2	31	79.5																																																	
研修生	25	25	100	12	5	3	20	80.0																																																	
計	64	64	100	16	30	5	51	79.7																																																	
年度	H21	H22	H23	H24	H25																																																				
就農人数	17	28	33	34	35																																																				
就農率	50.0	70.0	70.0	83.0	80.0																																																				

魅力ある農大の実現に向けた取組概要（平成27年度）

平成27年2月24日 大分県立農業大学校

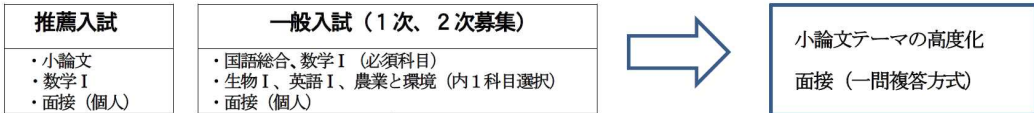
運営方針 質の高い教育の提供 -教育再生-



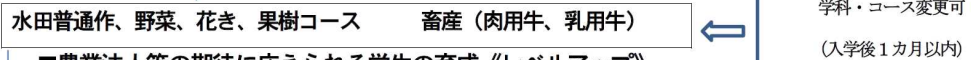
農学部

定員60名/学年 現時点：在学生93名（1年生54名 2年生39名）

入学試験時



一年次



■農業法人等の期待に応えられる学生の育成《レベルアップ》

- 数学力の向上
 - ・基礎数学（1年次）、農業数学（2年次）の選択科目充実
- 時代の要請等に対応した教育科目の抜本的見直し（新設、統廃合）
 - 農業機械応用実習の新設（H26）→ 実習内容の充実（H27）
 - ・ゆとりのあるカリキュラムの編成（単位数及び時間数の削減）
 - 《現行》118単位 2,475H → 103単位 2,160H
 - （原則、水曜日の午後を自由時間とし、空き時間は個別対応等に活用）
- JGAP導入を目指した農場管理の実践（H24～H27）
 - ・「農業生産工程管理手法」による野菜コース農場でのモデル的实践
 - ・JGAP「管理点と適合基準」を参考に、学生とともに品質管理等について改善案を作成
 - ・GAP講座の新設（H26）、GAP対応調整室の建設（H26）→ 新GAP認証の農学部全体への拡大
- 新ICT導入による新たな農業生産システムの実践（予定）
 - ・ICT農業特別講座の新設
 - ・ICTを活用した環境制御型園芸施設（花き、果樹）の建設
- 農研センター、振興局との連携によるプロジェクト課題研究の拡充
 - ・つや姫の施肥方法の違いによる収量・品質に及ぼす影響（作物）、イチゴの新品種「大分5号」に関する生育及び収量に関する研究（野菜）、ヤマジノギクの極早生品種の適正肥料量の検討（花き）、流線型仕立てによるニホンナシの結実開始短縮技術の実証（果樹）、発酵バガスを利用した小牛育成技術の検討（畜産）
- 進路コーディネーター、心理カウンセラーの配置（H26）

二年次

総合経営特別講座（10名程度）《ステップアップ》※自薦に基づき、成績、学習態度、就業意欲等を勘案して入選

■より高度な経営力を習得させるため、次の内容をパッケージにして、選択科目を新設

- 経営者育成特別科目（7科目）
 - ・企業経営論、アグリビジョン論、消費者ニーズとマーケティング、簿記資格取得 ほか
- 研究・普及との連携による地域農業実践教育
- 先進農家等インターンシップ（1週間程度）
- 流通研修（京都市場：1週間程度）

■特典

- ・農業法人等への優先斡旋、研究機関の特別指導

研修部

多様なニーズに対応するため、研修内容のメニュー化

就農準備研修（初心者向け：野菜の戦略品目を主体に栽培管理技術等の習得）

- 長期コース（11ヶ月）
 - ・定員20名（一般5名、職業訓練15名）→ 現員11名（一般1名、職業訓練10名）
退校 1名（就農前研修へ1名）
- 中期コース（8ヶ月）
 - ・定員5名（職業訓練5名）→ 現員11名（職業訓練12名）
退校 2名
- 随時コース（3ヶ月程度）
 - ・定員5名（一般5名）→ 実績 0名
- 通信講座コース（「農」大好き！わかばネット）（各コースとも定員20名）
 - ・入門コース（約3ヶ月）→ 修了19名
 - ・中級者コース（約5ヶ月）→ 修了15名

平成27年度の主な行事予定について

[平成26年度 3月主な行事予定]

・卒業式 3月13日(金)10:30~11:30

・二次入試 3月19日(木)

・二次合格発表 3月20日(金)

・修了式 3月16日(月)

月	旬	主 な 行 事	月	旬	主 な 行 事
4	上旬 中旬 下旬	・開校式 学力試験(2年生)、就農準備研修長期コース開講式 ・入学式(10日) 学科・コース別懇談会 学力試験(1年生) ・学生募集県報掲載	10	上旬 中旬 下旬	・先進農家等体験学習(約1ヶ月) ・推薦入試願書受付開始 ・推薦入試、発表 ・一般入試願書受付開始
5	上旬 中旬 下旬	・農大説明会・振興局との連携会議 ・後援会総会(15日) ・ 第1回外部評価委員会(27日) ・近県スポーツ大会(22日)	11	上旬 中旬 下旬	・農大祭(8日) ・一般入試願書受付締切り ・先進農家体験学習報告会
6	上旬 中旬 下旬	・2年生海外農業体験研修 ・第1回オープンキャンパス ・後援会第1回懇談会	12	上旬 中旬 下旬	・一般入学試験、合格発表 ・P実績発表会 ・校内プロジェクト研究・意見発表会(エイトピア小ホール)
7	上旬 中旬 下旬	・農業法人と学生の就職相談会(7日)、就農準備研修中期コース開講式 ・第2回オープンキャンパス ・後援会第2回懇談会	1	上旬 中旬 下旬	・九州地区プロジェクト・意見発表会(21~22日:佐賀県)
8	上旬 中旬 下旬	・後援会第3回懇談会	2	上旬 中旬 下旬	・卒業論文提出 ・農学部卒業試験 ・全国プロジェクト発表会及び交換大会(東京) ・2年生閉校式・退寮式 ・ 第2回外部評価委員会(23日)
9	上旬 中旬 下旬	・九州地区農大親善体育大会(17・18日:佐賀県) ・P計画発表会	3	上旬 中旬 下旬	・農学部後期試験、就農準備研修閉講式 ・卒業式 ・修了式